

■ 県内分布

西播磨、但馬

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	○ 特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

標高の高い場所に生育する種。氷ノ山周辺では現存が確認されている。山頂から三の丸に向かう登山道では広くササが刈られているために増えている。

■ 保護上の留意点

現状を把握するとともに生育地の保全が重要である。



標本：頌栄短大コレクション

■ 種の概要

山地の水湿のある斜面に生え、小さな株をつくる多年草。茎は高さ10-20cmで、鈍3稜があってやや平滑。葉は細く、幅1mmにもならない。小穂はただ1個が頂生し、苞がなく、卵形で長さ3-5mmになり、雄花部は上端にあってきわめて短く、その下につく雌花部も短い。雌鱗片は広卵形で、濃褐色を帯びる。